

レンコン産地の更なる発展を目指して ～産地と連携したレンコン産地及び経営体の育成～

県南農林事務所経営・普及部門

土浦地域のレンコン産地は、霞ヶ浦の水利や整備された生産基盤等を活かし、全国有数の生産規模を誇るレンコン産地となっています。普及部門では、JAや市、生産者、研究機関等と連携し、高品質なレンコンを環境と調和しながら安定的に生産ができる体制づくりとともに、産地をリードする経営体の育成に取り組んでいます。

収量や品質の高い優良系統の導入

レンコンの生産性を高めるために、産地や研究機関等が協力して、平成25年から5年をかけて収量性や品質が優れた系統の選抜を行いました。

平成30年から、JA水郷つくば蓮根部会の青年部や研究部組織が、増殖用の圃場（5圃場49a）を設置し（写真1）、優良系統の増殖や維持管理を始めており、今後の普及拡大が期待されています。



写真1 青年部による優良系統増殖圃場の管理



写真2 GAP導入に向けた現地研修会

GAPや環境にやさしい適正施肥の推進

GAP（農業生産工程管理）とともに無駄のない適正な施肥技術を導入し、安全で安心な環境にやさしいレンコン生産を推進しています（写真2）。

平成31年4月、JA水郷つくば蓮根部会霞ヶ浦支部GAP推進班が県GAP第三者確認制度に登録され、他支部でも県GAPの導入が進んでいます。また、環境に配慮した施肥技術の導入を図り、導入面積は65ha（H28）から135ha（H30）に拡大しました。

新規就農者の定着促進や経営体の育成

土浦地域では、毎年約10名の新規就農者がレンコンを軸とした経営を始めています。当部門では、個別巡回を重ね、所得目標の設定や課題解決に向けた取組を支援し、平成30年度は対象5名のうち1名が所得目標を達成しました。

また、雇用型経営による規模拡大が進んでいることから、雇用管理や法人化に関する研修会（写真3）の開催や、専門家派遣等により経営体の強化を後押ししています。



写真3 最新情報を提供するレンコン生産者研修会